



八百津小学校だんじりを見学

八百津小学校でふるさとをテーマとする総合的な学習が行われ、3年生24人が春に行われる八百津まつりのだんじりを見学しました。

八百津まつりの学習は3回に分けて行われ、1回目は同町在住の青木茂雄さんから詳しい話を教室でお聞きしました。2回目の今回は実際にだんじりに触れたり、巻き尺で大きさを測ったりしました。

子どもたちは、お祭り当日はだんじりをじっくりと観察できないため、大きな木製の車輪や藤づるで締め上げた骨組みを熱心に観察していました。子どもたちからは、「八百津にはすばらしい伝統がある」「次のお祭りが待ち遠しい」など声が上がりました。



保管されているだんじりを興味津々に眺める児童ら ▲



高齢者交通安全大学校へ101名入校

加茂警察署・加茂地区交通安全協会八百津支部と伊岐津志老人クラブが連携を図る、八百津町交通安全大学校が、錦津コミュニティセンターきらりにおいて開設されました。

開校式では、加茂警察署長のあいさつに続き、大学長に任命された加藤氏が交通安全の現状や地区内の危険箇所、高齢者事故等の実態を報告しました。

また、開校式には大勢の来賓を迎え、町長の祝辞では、「高齢者大学の開設の意義」と「杉原千畝の世界記憶遺産が認められれば、伊岐津志トンネル開通とともに交通量も増大し、信号機設置など高齢者・交通弱者が安全に生活できるようになる」と話しました。開校式後には、『安全で豊かな長寿社会をめざして～交通安全を考える～』と題して、交通安全計画アナリスト、信田正美さんの記念講演が行われました。信田さんは、「長寿社会を迎えた現代の、交通事故や交通被害者の状況」「人的エラーの交通事故が85%を占めること」「運転者教育の必要性」を分かりやすく説明されました。



受講者で満席の会場では、みなさん真剣に話を聞かれていました。▲



日本パーツから寄付金をいただきました

6月27日に日本パーツ製作所(株)(伊岐津志)から、『現在町が進める「杉原リスト」のユネスコ世界記憶遺産登録のための活動事業に対し有効活用してください。』と「杉原千畝基金」の趣旨にご賛同いただき、二十万円のご寄付をいただきました。

町といたしましては杉原千畝の人道精神を顕彰し、その偉業を後世に伝えるために有効活用してまいります。誠にありがとうございました。

また、熊本地震災害義援金へも同時に十萬円の義援金をされました。ご協力に感謝いたします。